

3月4日(月曜日) 3月1日(金曜日) 2月29日(木曜日)











新井一徳(自民) 内沼博史(自民) 宮崎吾一(自民) 小川直志(自民) 松坂喜浩(県民) 保谷 武(自民) 橋詰昌晃(公明) 野本裕子(民主フォーラム) 松澤 正(自民)

# 一般質問

2月29日から3月4日の一般質問では、9人の議員が質疑・質問を行いました。

ホームページでご覧いただけます  
代表質問・一般質問の質疑・質問・答弁の全文はこちらからお覧いただけます。




本会議の様子

2月28日(水曜日) 2月27日(火曜日)





蒲生徳明(公明) 田並尚明(民主フォーラム) 田村琢実(自民)

# 代表質問

2月27日、28日の代表質問では、会派を代表して3人の議員が質疑質問を行いました。

## 農業

### 全国植樹祭について

今年1年前記念イベントや大会シンポルの全市町村巡回展示の実施などにより機運を高めていく。大会前日は全国林業後継者大会で林業の魅力発信。当日は県内3か所で開催する大会に多くの県民が参加する大会にしたい。県全体がワンチームで成功に導けるよう取り組む。

## 青少年

### 若者の社会参画と意見の反映で、県若者政策の充実を

若者が抱える困難の解決と本県の未来を拓く政策づくりのため、全庁ワンチームで若者と県の政策づくりに取り組む仮称「埼玉ユースカウンシル」を設置し、どのような中長期的な埼玉の課題を解決するため、若者の参画と若者の声を反映した政策をどう進めるのか伺う。

## 用語解説

### ※1 広域火葬

被災した市町村が単独で火葬を行うことが困難となった場合に、他の自治体の火葬場に協力を求め、地域の枠を超えた広域的な火葬を行うこと。

### ※2 ジェンダー主流化

あらゆる施策において、固定的性別役割分担、性差別、偏見等が社会的に作られたものであることを意識する視点を取り入れることで、一つの施策が結果として男女間で格差をもたらしていないかを点検し、施策効果の向上を図るもの。

### ※3 子どもアドボカシー

子どもが意見や考えを表明できるようにサポートすること。

## 産業

### 持続的賃上げについて

物価高に負けない賃上げが実現しない限り、生活者の家計の実感悪化が懸念される。中小零細企業が、価格転嫁と賃上げの好循環を実現できるような取り組みをさらに進め、賃上げを実現するために、今後、どう取り組みを強化していくのか伺う。

### ※4 避難行動要支援者

高齢者・障害者・乳幼児など、特に配慮を要する人のうち、災害が発生した場合に、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速に避難するために、特に支援を要する人のこと。

### ※5 仮称バーチャルユースセンター

仮想空間上のユースセンター。メタバース空間で、小学生から義務教育終了後の大学生程度までの子どもや若者が安心して気軽に参加でき、体験・交流・相談等の機能を備えた居場所。

### ※6 価格交渉支援ツール

価格交渉を行う際に原材料価格の推移の根拠資料が必要な場合、表計算ソフトを使用し、主要な原材料価格の推移を示す資料を簡易に作成できるツール。

## インフラ

### 水道老朽化の対応について

将来的に必ず発生する老朽化対策で、どう施設更新費用を見積り、対応するか県民に示す必要がある。減価償却計画上終了後も内部留保を維持し、積み増していく努力をしてほしいと考える。値上げ検討前に、県民に納得できる努力と検討結果を示してほしいと考えるが所見を伺う。

## まちづくり

### 移住促進について

コロナ禍をきっかけとしてテレワークの普及で、東京圏で働きながら地方に住む「転職なき移住」への関心が高まっている。そこで若年層の転出超過数が多い県内地域へ、県内市町村や他県の移住に関する成功事例などを研究・支援していくことが必要と考えるが所見を伺う。


### ※1 広域火葬

被災した市町村の死者数が、火葬場数や火葬能力から割り出されるキャパシティを超えているかが判断基準だが、災害規模や被災状況により柔軟に判断し広域火葬の調整に迅速に着手する。遺体安置所の設置基準は市町村ごとに課題を整理し、個別に協議などを行っていく。

## 意見書

意見書10件を可決し、国に提出しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 国土強靱化の取組の更なる加速化を求める意見書
- 養子縁組里親等の育児休業における子どもの対象年齢の引上げ等を求める意見書
- 医療・介護・障害福祉分野の処遇改善等を求める意見書
- 特別支援学校における過密状況の解消のための財政支援を求める意見書
- 自動車・自転車の窃盗罪について厳罰化を求める意見書
- 男性育児休業の取得促進に向けた取組の一層の充実を求める意見書
- ケアラー支援の法制化等を求める意見書
- 経年車に対する重課措置の廃止を求める意見書
- 認知症との共生社会の実現を求める意見書
- 仮放免制度の改正を求める意見書



▲詳しくはこちら

## 多様性社会

### 知事を目指すジェンダー主流化について

知事のジェンダー主流化への思いと、主流化を進めようとした動機を伺う。また、令和5年度のジェンダー主流化の事業点検を試行した成果を6年度予算にどのように盛り込んでいくか。さらに、ジェンダー主流化の理解促進のため、その必要性をどのように伝えていくのか伺う。

## 知事の県政運営方針

### 令和6年度埼玉県一般会計予算案について

自由民主党議員団は、昨年10月、6年度予算に對する政策大綱を知事に手交し、より持続的な経済成長と地域社会の自律的発展を断行することに力強い消費を断行することを求めた。予算編成について政策大綱との関連を踏まえ、知事の思いを伺う。

## 子どもアドボカシー

### 子どもアドボカシー(※3)の取組について

令和6年4月の児童福祉法改正で、虐待防止・児童相談所の体制強化として、児童相談所における子どもの意見聴取の仕組みを整備された。今回の改正児童福祉法の対象である一時保護や社会的養護に係る子どもへの「子どもアドボカシー」は今後どう取り組んでいくのか伺う。

## 福祉

### 児童養護施設の課題と施策の必要性について

発達障害児や特別支援学校・学級の児童に対する加算、心理職員の増配置、一時保護施設職員の配置基準の引上げ、さらに児童心理治療施設の早期新設が必要と考える。また、児童養護施設職員の処遇改善加算を介護・障害福祉施設と同レベルまで増額すべきと考えるが所見を伺う。

## 災害対策

### 大規模災害時、医療的ケア児を支える仕組みを

医療的ケア児は常時、生命維持装置を使用しており電源が必要。災害時の避難場所では福祉避難所が立ち上がるまでは自家用車にならざるを得ず、電源確保のためガソリンが必要である。ガソリンの優先供給について、県と業界団体が協定を結ぶなどの取り組んでいくのか伺う。

### 災害時の仮設住宅について

災害発生後、1日も早く仮設住宅を供給できるよう、関係団体とさまざまな被災状況を想定したシミュレーション訓練を行う必要があると考える。また、生活弱者や高齢者の恒久利用も考えた仮設住宅の場所の選定や住宅の仕様の検討をどのように行うのか所見を伺う。

## 大規模水害時における広域避難の仕組みづくりについて

大きな河川流域での外水氾濫時に、住民すべての避難先を確保するのは困難。避難行動要支援者(※4)だけでなく高台に避難できるミニマム広域避難の仕組みづくりを提案する。特に、水没自治体が避難受け入れ相手先を探り自治体間マッチングの場作りを県に期待したいがどうか伺う。

### 大規模水害時における広域避難の仕組みづくりについて

「ペット同行避難ガイドライン」埼玉県版「ペット動物のための防災手帳」周知の取り組みを伺う。また、能登半島地震を踏まえ、ペット同行避難について見直しが必要であったか。ペット同行避難に関する平時からの備えについて、県はどのような取り組みを行っているのか伺う。

## 地域防災計画

### 女性の視点が入った防災意識を段階へ移すために

地域防災計画では、避難所の必要物資として女性用下着、生理用品、防犯ブザーなどが細かい配慮に及ばないが、市町村の対応にはバラつきがあり、市町村までジェンダー主流化は進んでいないのではないかと。今後、女性の視点を取り入れた取り組みをどのように進めるのか伺う。

### 広域火葬(※1)計画について

判断を下す基準について伺う。また、大規模災害時は、多くの避難者が公共施設に來所するため、公共施設を遺体安置所として使用できないこと、速やかに遺体を火葬することが困難な場合の遺体安置所の設置について市町村とどのような協議を行っているのか伺う。